



きつ かわ よし のり
吉川芳則

小学校教員養成特別コース教授

「板書を見れば授業の良しあしが分かる」と言われますが、
分かりやすい板書にするためにはどのような工夫が必要でしょうか。

板

書は子どもたちの考えをすっきりさせたり、「よし、これを考えていくぞ」とやる気を起こさせたりするためのものです。それを念頭に置いて工夫してみましょう。

授業が進んでいくうちに、さまざまな意見が出てきます。それらがどうつながっているのか、何が大事なことになるのか、子どもたちはなかなかうまく整理ができません。いま問題になっていること、これから解決していかなければならないことが黒板に分かりやすく示されていれば、頭の中がすっきりとし、やる気が出てきます。

そのためには、板書は簡潔なものにすることが大切です。次のような点に気を付けます。

- ▼書き過ぎない(つつい書きを加えたくありませんが)



- ▼文字の大きさ、太さに変化をつける。びっくりするような大きな文字も時には効果的
- ▼チョークは白だけにしないように。できるだけ赤、黄と合わせて3色で。色の使い分けに自分なりのルールをつくる

これらのことと合わせて配慮したいのが、板書全体のつくりです。問題にしたい事柄を左右に大きく対立するように書いたり、一番大事なことを中央に大きく配置したりというふうには、くっきりとした構図を心掛けましょう。その際、次のことも意識すると効果的です。

- ▼枠や丸で囲んで強調する
- ▼線で結び、関係を示す

これらもシンプルにすることが大事です。やたらと線で囲んだり、結んだりすると、かえって複雑になってしまいます。書かれていない事柄を補って考えることも大事な学習と心得て臨みましょう。

キャンパストピックス

CAMPUS TOPICS

▼キャリア開発指導員が常駐。就職に関する相談に対応する



兵教大は教員就職において常に上位を維持(平成22年度卒業生の教員・保育士就職率は全国1位)しているが、センターでは教員就職にとどまらず、学生が主体的に学び続けることができる豊かな人間性を身に付けた教員、社会人になることを目指し、卒業後も見通した多様な学習や体験の場を提供していく。

▼学習スペースや教員採用試験に関する資料が充実



キャリアセンター (教職キャリア開発センター) を新設

今年4月、就職支援室の施設や設備、スタッフを大幅に拡充した「キャリアセンター(教職キャリア開発センター)」を総合研究棟2階に新設した。学生のキャリア形成を支援するための多彩な機能を備えており、主に教員採用試験や就職を支援する「就職支援」、社会人としての基礎力を養成する「キャリアデザイン支援」、「調査研究」の3部門を置いている。

就職に関する資料や情報誌を豊富にそろえ、情報検索用のパソコンも完備。常駐のキャリア開発指導員等が就職や進路に関する疑問・質問に答え、さまざまな相談に応じるとともに、面接や模擬授業などの指導を行っている。また、グループや個人で使える学習スペース、相談や模擬面接・模擬授業などができる個別ブースも設けている。



◀加治佐学長もセンターのキャリア支援に期待を寄せる